

260人の大合唱岩手に響く

東北交流会お疲れ様でした。東北の連帯でレコーディングコンサートでは男声87名、女声173名、合わせて260名の大合唱を響かすことが出来ました。スタッフ、協力者含め300人以上の方が交流会成功のために参加してくれました。

コンサートでは各県それぞれの持ち味を出した、すばらしい演奏になりました。感動的な演奏会となり、CDになるのが楽しみです。また、演奏を全く見ることなく、ずっと保育をして頂いた「やじろべえ」のスタッフの皆さんには本当に感謝、感謝です。



最大派閥・宮城県の練習



普段はなかなか出来ない男声の大合唱

豪華なホテルにびっくり

コンサート終了後は八幡平ロイヤルホテルに移動、今までの交流会にはなかった、豪華なホテルと豪華

な交流会場、広い部屋にびっくりしていました。

交流会では飲めや歌え

緊張したコンサートを終え、220人が参加した夕食交流会ではリラックスして演奏とスピーチの大交流会となりました。

岩手では歓迎演奏として、自前での「灯」と震災復興を励ます「負けないみんなで一歩ずつ」を演奏、やや男声不足でしたが、最初から感動の幕開けとなりました。乾杯の後、長い間お待たせとなっていたご馳走にやっとありつくことが出来ました。演奏交流の最初に司会のPart Timeが、みんなで歌える喜びを歌った「また歌い出そう」を演奏しました。続いて「やじろべえ」がサンバのリズム「さあ踊ろう」を踊りオープニングを盛り上げました。



あれ、背中に羽根をつけるんじゃなかったの？

青森はマイクロバスで31人が参加。演奏交流では「ときの流れ」を歌いました。来年は青森です。交流会終了後はバスで観光に向かったようです。



紙風船の「ときの流れ」を演奏

続いて、滝沢ぞうれっしゃ合唱団+ひろば+めろでいによる「雄々しくそびえる岩手山」、岩手・うたごえサークル「ひろば」による団塊の世代の歌「歴史のランナー」、盛岡合唱団といのちをつなぐ人たちの歌合唱団による振り付け付き「すてきな友だち」と歌ってきて、地元岩手の演奏はおしまいです。このあたりになるとかなり盛り上がってきて後ろまで合唱の聲が届かなくなってきたのが残念でした。スピーチでは山本忠生氏、小林康浩氏、音楽センター土屋さん、北海道合唱団、ちば祭典実行委員会がコンサートや交流会の感想をお話しました。

北海道合唱団からは5人も参加していただき、大塚さんには受付までお願いししました。歌う時間を取ることが出来なくてごめんなさい。



CDのパートナー・北海道合唱団から5人も参加

千葉の祭典実行委員会からも、そろいのはっぴを着て3人が参加、石塚さんには舞台の裏方を手伝ってもらい助かりました。日うた祭典で「ふるさとの山影」を東北中心に歌う企画を立てた、企画担当の太田さんが来られなくなり残念でした。



祭典グッズも買っていただき、千葉に来てね

続いて佐々木伸介さんがオリジナル曲をピアノの弾き語りで演奏し、D51合唱団が登場。「線路をつ

なげたい」を歌った後、会場のあまりの盛り上がり、禁断のアンコールまでやってしまいました。歌えない団体もあったんだからね。あっ、司会の指示か！



真打ち登場 D51合唱団

山形からは2団体21人が参加しました。交流会ではモンペデオが主役。会場を笑いの渦に包みました。次いで、山形センター合唱団と「泉のほとり」の替え歌バージョンを披露。こっちをCDに入れた方がいいんじゃないとの声もあがりました。



楽しい山形のステージ

秋田からは21人が参加しました。創作曲の「私が歌をうたうのは」と30年も若返った想いの「ぼくのひこうき」を演奏しました。



宮 続いて大型バス2台とマイクロバスで参加した宮城のステージになりました。岩手より地震は大きかったはずなのに、コンサートを成功させるんだという、この底力には脱帽です。南三陸町の避難所／仮設住宅にいる仲間にも援助をしながらの大量126人の参加でした。組織してくれた中心メンバーの方はご苦労様でした。

さて、宮城の最初は、といってもD51はすでに演奏していますが、PEACEのお二人が「朝露」を歌ってくれました。PEACEは南三陸町で活躍している男性1、女声1のユニットで、佐藤ゆき子さんは津波のため、お義父さんと自宅を流されてしまいました。現在仮設住宅暮らしです。「全てを失ったけど、私には歌がある」と気丈に立ち上がり歌い始めています。



PEACEのお二人

続いて被災地で活動していたコンプリオと宮城の仲間たちによる「ひまわりに希望たくして」が歌われました。コンプリオは石巻で活動している13人ほどのグループで、創作曲中心に旺盛な活動をしていました。震災で家の1階天井まで浸水した団員が3人います。練習場も被災し、しばらく活動できなせんでしたが、6月になって再開しました。



宮城の仲間たち

夕食大交流会の最後には「人間の歌」をD51のリードで大合唱しました。会場いっぱい大きな輪ができましたね。



うたごえの輪で包まれた会場

中締めの後、パーティションで会場を縮小し、オプション企画の「とことん歌う会」が「やじろべえ」の司会で始まりまして。



司会は「やじろべえ」のお師さん方

歌う会では青森の方のきれいなハーモニカ演奏があったり、山本ちゅーやんの曲を覚えたりしました。

福島の演奏があり「離農の歌・原発バージョン」が歌われました。福島からは15名が参加して



佐藤陽久さんのギターで「離農の歌」

くれました。「今歌いたいのはロシア民謡なんかじゃない」という声もあり、真剣な討論を重ねてきた中での参加でしたが、コンサートの「仕事の歌」を聞いて「エイ前へ進め、さあみんな前へ進め」という歌に感動したという観客の声が聞こえています。



小林さんを中心とした豪華伴奏陣

歌う会の伴奏は小林康浩さんを中心としたピアノ、アコ、ギター2の豪華伴奏陣で気持ちよく歌うことができました。歌う会はその後往年の振り付け付きの曲で盛り上がり最後は「青春」の踊りでノリノリで終了しました。



老いも若きも「青春」

うた新フォーラムととことん飲もう会

うたう会終了前にフライングスタートした「うた新フォーラム」は、うたごえ新聞三輪編集長の部屋で行われましたが、フライングスタートがよくなかったのか、滑り込み企画だったためか参加者は多くなかったようです。しかし夜遅くまで福島の深刻な実情などを語り合っていたようでした。

D51に仕切りを頼んだ「とことん飲もう会」は「南部富士」で行われ、1時過ぎまで飲んだり歌ったりしていたようです。

☆☆☆合唱練習も充実☆☆☆

翌日は前日の興奮がさめやらぬ中、山本ちゅーやん、小林さんの指導で「人間の歌」「あの空へ帰ろう」「Now is the time」を練習しました。



ちゅーやんの合唱練習

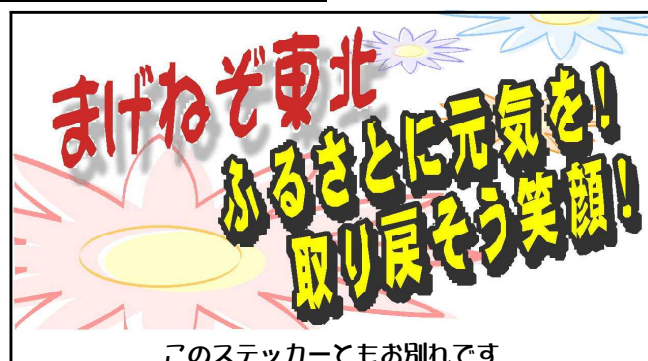
途中で各団の指揮者を壇上に上げ、まるで指揮者講習会の様と思ったら合唱の繰り返し練習にもなっていた。さすがですねー。

最後の閉会セレモニーでは、奈良から参加した上殿さん、北海道合唱団、千葉祭典実行委員会、東京南部合唱団の大井さんが感想を述べ、次回開催地の青森から企画発表がありました。最後に「負けないみんなで一歩ずつ」を全員で歌い、お開きとなりました。

皆さんで作り上げたCDを多くの人に広めましょう！



2011東北交流会 in 岩手 ニュース



来年は青森県

2012年6月30日～7月1日ですよー

▼おっとその前に日うた祭典があるぞ！